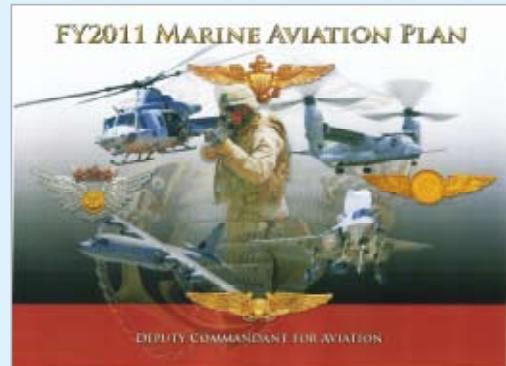




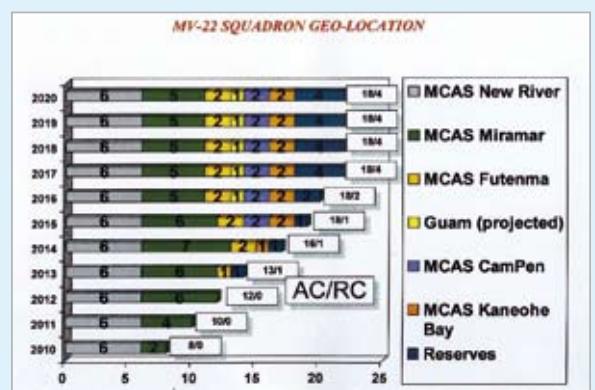
“MV-22オスプレイの沖縄配備反対”

2010年9月に米海兵隊により公表された「海兵隊航空計画」(FY2011 Marine Aviation Plan)によると、老朽化しているCH-46Eの後継機はMV-22(オスプレイ)とされており、現在普天間飛行場へ配備されている第1海兵航空団第265中ヘリ中隊と第262中ヘリ中隊も、2013米会計年度(2012年10月)からオスプレイ中隊に交替することが記述されている。

交替される部隊はVMM-561オスプレイ中隊とVMM-562オスプレイ中隊であり、順次、第1海兵航空団に配備される計画となっている。2010年12月には、カリフォルニア州ミラマー基地でVMM-561オスプレイ中隊の発足式が行われ、「18ヶ月後には配備の態勢が整う」(同中隊司令官)としている。また2011年1月には、アリゾナ州ユマ近くの砂漠での訓練を行った。オスプレイは開発段階から頻繁に墜落事故を起こし、最近では2010年4月には、アフガニスタンで空軍のCV-22オスプレイが墜落し4人が死亡する事故も発生している。もはやオスプレイが欠陥機であることは明白である。よって、更なる墜落の危険性や騒音被害の増加が懸念されるオスプレイ配備については強く反対し、日米両政府に対し、配備をやめるよう求める。



2011 海兵隊航空計画



↑ 2013米会計年度(2012年10月)から普天間飛行場にMV-22オスプレイ部隊が配備されるとしている。
2011 海兵隊航空計画(2-7)

UNIT/LOCATION	PHAT	FY10										FY11										FY12										FY13										FY14										FY15										FY16										FY17										FY18										FY19										FY20									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112